



【コウノトリの巣(世羅町)】  
(写真提供：末岡一登様)

## ごあいさつ

三原地区保護司会 研修部長 福場 俊 浩



平素から三原地区保護司会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度の重点項目は次のとおりです。

### 1 会員の処遇能力の向上

#### 2 ICT化の推進

#### 3 他地区との交流を通じた会の活性化

#### 4 “社会を明るくする運動” 県モデル地区事業

1つ目は「会員の処遇能力の向上」です。面接技能の向上を図る研修、更生保護施設の見学、更生保護関係者の講演、他地区会員との交流等を企画して研修を深めます。

2つ目は「ICT化の推進」です。近年「LINEワークス」を導入しました。これにより、会員相互の情報共有や事務処理がスムーズになりました。会

員は少しずつICT化の利便性や有効性に気づいています。しかし、ICT化の進化は速く、会員の対応が追いつかない状況もあります。新たな技術や機器の導入の際には、丁寧なサポートを行い、活用の幅を広げていきたいと考えています。

3つ目は「他地区との交流を通じた会の活性化」です。お互いの研修会に参加したり、サポートセンターを見学したりすることを通して、良い刺激を受け、会の活性化につながることを目指し、今年度の新たな重点に加えました。

4つ目は「“社会を明るくする運動” 県モデル地区事業」です。県のモデル地区事業への参画を通して、明るい社会を築く運動を地域に広げ、会員の力量のアップと組織力の強化を図りたいと思います。

当会の活動に対して、今年度も温かいご指導とご協力をお願いします。

## ごあいさつ

広島保護観察所長 小林 淳雄



三原地区保護司会の皆様方におかれましては、日ごろから犯罪や非行に陥った者の自立更生の支援や社会を明るくする運動等の広報啓発をはじめとする諸活動の推進に絶大な御尽力を賜っており、心か

ら敬意と謝意を申し上げます。

令和5年4月1日付けで広島保護観察所長を拝命し、広島県における更生保護の推進に関わらせていただくこととなりました。浅学非才の身ではございますが、何卒よろしく願い申し上げます。

さて、現下の重要課題は、犯罪をした者等に対する息の長い社会復帰支援の実現と、それによる再犯の防止です。

刑事司法手続終了後も含めた「息の長い」支援の実現には、国・地方公共団体・民間協力者が一体となった切れ目のない支援体制の構築により、円滑な地域移行と地域生活への定着支援を図ることが重要です。

再犯防止の取組は、安全・安心な地域社会づくりはもとより、望まない孤独・孤立の解消や「誰一人取り残さない」地域社会づくりにも貢献するものです。

広島保護観察所は、広島県、三原市及び世羅町と連携し、三原地区の保護司の皆様方と協働して、再犯防止の取組に邁進していく所存です。

今年も“社会を明るくする運動”の強調月間である7月を迎えました。

第73回を数える今年は、三原地区がモデル地区として担当されます。

当庁といたしましては、犯罪や非行からの立ち直りを支援することの重要性を、包容力あるコミュニティを築くことの大切さを、三原市、世羅町、そして三原地区保護司会をはじめ本運動の推進委員会に参画して下さっている皆様方と一緒に訴えてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

## SST初級認定研修

1月20日、21日の二日間、SST普及協会から2名の認定講師（野口卓也先生、西山圭一先生）を迎え、日本更生保護協会と全国保護司連盟の助成による保護司会を対象としたSST初級認定研修を当会で行いました。

研修では、講師からの講義、DVD視聴、グループ演習、気づきの交流をとおして、SSTについて学びを深めることができました。

特にグループ演習では指導いただいた基本を大切に、さらに、会員がこれまで培ってきた手法を加えるなど各自が持ち味を発揮しながら内容の濃い研修をすることができ、講師の先生からも高い評価を得ることができました。

また、参加者全員が認定講習の修了証書を受けることができたと同時に会員同士の相互交流が深まり、会の活性化に繋げることができました。



## ごあいさつ

三原警察署長 西川 博 志



三原地区保護司会の皆様には、平素から、警察業務各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

また、犯罪者への立ち直り支援活動、再犯防止活動、さらには少年の非行防止・健全

育成活動など、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向けた様々な活動を推進されていることに、心から敬意を表します。

さて、県内の犯罪情勢をみますと、平成15年以降、減少傾向で推移していた刑法犯認知件数が昨年は増加に転じ、今年に入っても増加の一途を辿る極めて憂慮すべき状況となっております。

検挙人員に占める再犯者の割合についても依然として高い水準で推移しており、昨年の三原地区では三原市の再犯率が5割を超えて県下平均を上回り、世羅町では県下平均こそ下回っているものの、増加傾向にあります。

今後、犯罪は、社会情勢の変化に伴う一層の多様化・複雑化が予想され、SNSを巡るトラブルや

少年非行の低年齢化、高齢者による再犯率の増加など、地域住民の安全・安心を確立するための課題は山積しています。

特に、高齢者による再犯率の増加については、高齢化率が高い三原地区としては、看過できない喫緊の課題と言えるかもしれません。

非常に厳しい情勢下にはありますが、治安維持の根幹をなす犯罪抑止活動を推進する上で、再犯防止対策は必要不可欠なものであり、罪を犯した人の社会復帰を受け入れ、その更生を見守ろうとする社会的気運の醸成と、更生を望む方1人1人の性格や環境に沿ったきめ細やかな対応が求められます。地域の更生保護活動を担う皆様方の活動は、その中核をなす極めて重要なものと考えております。

警察といたしましても、犯罪者の検挙のみならず、その更生と再犯防止に資する取組に力を入れていく所存ですので、引き続き、連携・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びに、三原地区保護司会のますますの発展と皆様方のご健勝を心から祈念いたします。

## 令和4年度 第3回定例研修会「事例研究」

2月9日、広島保護観察所の今村嘉治保護観察官を講師に迎え、3回目の定例研修会を実施しました。

研修では、事例資料を基に

- ①対象者や家族を理解するときの着目点
- ②面接するときの留意点
- ③効果的な指導や助言をするための方策

などについて自由にグループ討議を行い、その後気づいた点を発表し、会員各自が持つ知恵やノウハウを共有することができました。



# 三原市推進大会

主唱 法務省 “社会を明るくする運動”  
**犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える地域のチカラ**  
 三原市推進委員会



三原市役所懸垂幕

第73回「社会を明るくする運動」三原市推進大会が、7月1日三原リージョンプラザで開催されました。岸田内閣総理大臣による社明メッセージ放映後、広島保護観察所小林次長から岡田市長へ、メッセージの伝達が行われました。続いて三原高校器楽部OB会による演奏、元保護司でもある作曲家 聖川 湧先生が音楽を通じた更生保護をご講演くださいました。

最後は聖川先生ご自身が作曲された『ひまわりの譜』を、三原高校器楽部OB会の演奏をバックに、更生保護女性会の皆さんによる大合唱で、盛会に幕を閉じました。



尾道刑務支所矯正展



岡田 吉弘  
三原市長



小林 靖  
広島保護観察所次長



岡本 純祥  
市議会議長



社明メッセージ伝達



「ひまわりの譜」大合唱



作曲家の聖川 湧 先生

# 世羅町推進大会

7月2日せら文化センターに於いて、「社会を明るくする運動」の世羅町推進大会が開催されました。岸田内閣総理大臣による社明メッセージ放映後、広島保護観察所小林所長から奥田町長へ、メッセージの伝達が行われ、ご来賓の祝辞後、東京都大田区保護司でもある五島つばきさんが、更生保護の父と称される『金春明善』他、ご自分の持ち歌を歌われ、更生保護への思いをご講演くださいました。

最後にデビュー曲である『ひまわりの譜』を、更生保護女性会の皆さんと共に大合唱で、盛会に幕を閉じました。



せら文化センター懸垂幕



尾道刑務支所矯正展



ひまわりの譜を通じて！「社会を明るくする運動の応援歌」  
歌手・保護司 五島つばき氏



奥田 正和  
世羅町長



小林 淳雄  
広島保護観察所所長



米重 典子  
町議会議員



社明メッセージ伝達



演題「ひまわりの譜を通じて！」



歌手の五島つばきさん



# 令和5年度 三原地区保護司会総会

4月25日、三原市中央公民館中講堂を会場に、令和5年度 三原地区保護司会総会を開催しました。

来賓の方をお迎えし、祝辞と激励のお言葉をいただきました。議長の進行により、予定したすべての議案が可決、承認されました。



今村統括保護観察官



新地三原市副市長



奥田世羅町長



西川三原警察署長



久保世羅警察署長

### 来賓紹介

- |             |            |
|-------------|------------|
| 三原市副市長      | 新地 弘幸 様    |
| 世羅町長        | 奥田 正和 様    |
| 三原警察署長      | 西川 博志 様    |
| 世羅警察署長      | 久保 裕史 様    |
| 三原地区更生保護女性会 | 会長 小川 敬子 様 |
| 三原地区協力雇用主会  | 会長 坂元 亨 様  |

## 第1回 定例研修会「保護観察一問一答」



総会終了後、広島保護観察所 井上 冬基 保護観察官を講師に迎え、「保護観察一問一答 (Q&A)」をテーマに第1回定例研修会を実施しました。研修は、保護観察に関する基本的な事項を中心としたクイズ形式の質問に各自で回答した後、解説を含めた講義を受けました。

## 「社会を明るくする運動」



# 令和5年 春の褒章と叙勲

## 受章おめでとうございます

### 藍綬褒章受章に寄せて

高橋 一 昭



この度の藍綬褒章受章を大変有り難く感謝申し上げます。平成3年3月保護司の任を受け、以来32年間今日まで無事に保護司の仕事をしていただきました。お釈迦様の教えの中に縁起の法則があります。すべての物事は、原因があり縁が働いて結果が生まれる。

対象者は良くない縁が働いて犯罪を犯し、私は良い縁が働いて保護司となっている。

もし縁が逆に働いていたら私が犯罪者となり、対象者が保護司になっていたかもしれません。それゆえ対象者とは対等に面談することを心がけていました。対象者を温かく迎えることはもちろんのこと、対等な感じで話をし、犯罪に対する反省や行動を上から目線で指導するのではなく、考え方や気持ちを聞き、心安らいで帰宅させることを志していました。

対象者とは、今後とも同じ向き合い方をしたいと思います。結びにあたり、このたびの受章に恥じないよう精進してまいりたいと思います。

### 春の叙勲

⊗ 瑞宝双光章  
(調停委員功労)

高橋 英晶さん



⊗ 瑞宝単光章  
(消防功労)

平田 耕三さん



### のぼり旗 7月から各地で



# 第1回 自主研修会「対象者に信頼される聴き方とは？」



6月15日、「対象者に信頼される聴き方とは？」をテーマに、三原市中央公民館で第1回自主研修会を実施しました。当日は、保護観察対象者との面接の在り方について、出席者で対象者役、保護司役、観察者を決めてロールプレイを行いました。講師は研修部の吉田なよ子副部長が務めました。久しぶりに会員同士の会話がはずみ、ロールプレイの音が聞き取りにくいほどの盛り上がりで大変有意義な研修となりました。

## 退任者紹介 (令和5年5月31日付)

森田 章裕 さん (三原5ブロック)  
長い間大変お世話になりました。  
心よりお礼申し上げます。

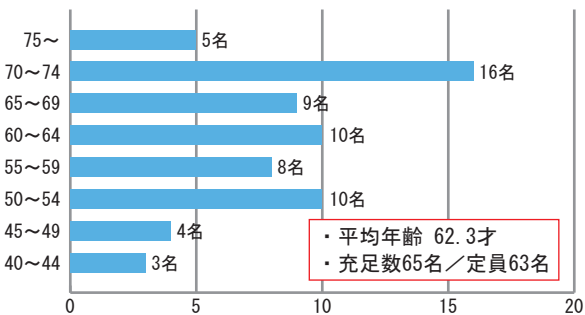
## 新任保護司の紹介

令和5年6月1日付けで新たに  
会員としてお迎えしました。

大畦 益司 さん  
(三原3ブロック)



三原地区保護司会 年齢構成表 令和5年6月1日現在



## 編集後記



今春、コウノトリ  
が世羅町に巣を作  
りました。

広島県内で特別  
天然記念物のコウノトリの産卵・孵化が確認さ  
れたのは、初めてのことです。

電柱の上で巣作りを始めたため、世羅町は感  
電しないように電気工事を行い、「優しく 静  
かに 見守ってください」という看板を設置し、  
地域全体でヒナたちの成長を見守りました。

世羅会場はコウノトリの話題で盛んな中での  
開催となりました。「社会を明るくする運動」  
の趣旨と、コウノトリを地域で見守る活動に、  
想いを重ね合わせる部分があって、巻頭の写真  
を掲載する運びとなりました。7月12日に、ヒ  
ナたちは無事巣立ったとのことです。

今後もこの思いの輪が広がりますよう願っ  
て、編集後記といたします。 (F・K)

お問  
合先

### 三原地区更生保護サポートセンター

〒723-0014 三原市城町3丁目1-1 三原港湾ビル3階 303号室  
TEL・FAX 0848-62-5515 e-mail : mihara-vpo@outlook.jp URL : https://mihara-vpo.com

